



【教育目標】

充実した遊びから 豊かな学びへ

— 学びや育ちにつながる教師の援助や環境構成の在り方を考える —

今年度は、幼児にとっての主体的な活動である遊びに焦点をあて、幼児の経験することが学びや育ちへとつながるように環境を工夫したり、一人ひとりに応じた援助を考えたりして、日々の保育に取り組んでいきます。

【目指す幼児像】

心豊かに いきいきと遊ぶ子

【本園の取り組み】

- (1) 幼児一人ひとりの発達や学びを踏まえ、環境を構成し、遊びの充実を図ります
- (2) 幼児の遊びがどんな学びにつながっているのか、どんな力が育っているのかを明確にします
- (3) “幼児期までに育ってほしい10の姿”を意識し、幼児の個々の発達や3年間の育ちを見通したきめ細やかな指導に努めます
- (4) 幼稚園教育と小学校教育の連携を深め、学びや育ちの一貫性を見極めた保育の実践に努めます
- (5) 保育園・子育て支援センターとの交流を深め、互いの保育理解と教育の充実を図ります
- (6) 教師としての専門性を磨き、保護者や地域とつながりながら保育の充実に努めます



以上のように、保護者や地域、小学校などと連携を深めながら取り組んでいきたいと思っております。どうぞよろしくお願いたします。



平成30年度 播磨町の教育

播磨町立幼稚園、小学校、中学校の本年度の教育方針をお知らせします。

▶ 問合せ 学校教育グループ ☎ 079 (435) 0545



【教育目標】

つながる 深まる 広がる

— 遊びの中の学びの充実をめざして —

研究テーマを、『つながる 広がる 深まる』とし、保育の中枢である遊びの中での学びに焦点をあて保育一つ一つの意味を考えながら全職員が一丸となって教育活動を進めていきます。また、西幼稚園の強みを最大限に生かして、西幼稚園だからこそできること、西幼稚園でしかできないことを子どもたちに体験させながら豊かな心と元気な体を育てていきます。

【目指す幼児像】

- 「ありがとう」「ごめんなさい」が言える子
- 人の話が聞ける子

【本園の取り組み】

- (1) 幼稚園だよりやホームページを通じて積極的に情報発信し、開かれた幼稚園づくりに努めます
- (2) 小学校との連携を積極的に図り、スムーズな接続に努めます
- (3) なかよし家族（縦割り小集団）の活動を随所に取り入れ、共に学びあえる場を設定していきます
- (4) シニアクラブや絵本ボランティアの方々をはじめ地域の皆さま、小中学生など様々な人とふれあう中で温かい気持ちや思いやりの気持ちを育てます
- (5) 特別支援教育などに関する園内研修を積極的に行い、教師として専門性を磨き、幼児一人ひとりの発達や学びに生かせるよう保育内容の充実を図ります



保護者の皆さま、地域の皆さまのお力添えが何より心強い支援となります。どうぞよろしくお願いたします。



【教育目標】

自分の思いを伝えよう

— 人との関わりを通して、自分の思いが伝えられるように、教師の援助や環境構成の在り方を考える —

本園では、昨年度に引き続き『言葉による伝え合い』を土台にしながら、今年度は人と関わる力を育て、『自立心』や『協同性』にも繋げていきたいと考えます。

【目指す幼児像】

発達年齢に応じたねらい、個々の様子に合わせた環境づくりや援助を意識して関わり、自ら伝えたいという気持ちを育て、“自分の思いを伝えよう”とする幼児の姿を目指します。

【本園の取り組み】

- (1) 幼児のつぶやきや表情などから、一人ひとりの内面を探ります
- (2) 幼児にとって、『教師はいつでも話を聞いてくれる人』という存在になれるように関わっていきます
- (3) それぞれの幼児の課題を把握し、幼児一人ひとりに合わせた関わり方や環境構成のあり方を考えます
- (4) 様々な体験を通して、自ら伝えたいという気持ちを育て、個の育ちから全体の育ちへと繋げていくよう努めます
- (5) 友達や異年齢児、家庭、地域の人など、様々な人との関わりを通して、人との繋がりや広がりを大切にしていきます
- (6) 教師としての感性や専門性を磨き、保護者や地域と連携しながら保育の充実に努めます

「生きる力の基礎をはぐくむ」を大きな目標に置き、昨年度に引き続き“自分の思いを伝えよう”をテーマに幼稚園と家庭、地域の様々な人との関わりの中で、自ら伝えようとする力を育てていきます。家庭や地域の方のご協力をよろしくお願いたします。





【教育目標】

夢かがやき とともに学びをきりひろく 心豊かな西っ子の育成

本校では、今年度も上記の教育目標を掲げ、基礎的・基本的な知識や技能の定着、主体的に取り組む学習態度、また、豊かな心と困難にくじけない健康な体を備えた真の「生きる力」を育成していきます。



【目指す児童像】

- 大きな夢をもつ子
夢や目標を持ち、具体的な計画を立て、それに向かって進んでいく力を身につけた子
○すすんでできる子
自ら考え、判断し、よいと思ったことを進んで行動に移せる子
○学びを広げる子
これまで学んだ見方・考え方をを使って、新しい課題に挑戦したり、新しい問題を見つけ解決する方法を考えたりできる子
○思いやりのある子
相手の立場を考えたり、相手の気持ちを想像したりすることを通して、友達を励まし、助けることができる子
○明るく健やかな子
明るく元気なあいさつができ、進んで遊びや運動に取り組む子

【本校の取り組み】

- (1) 「はい」という気持ちのよい返事、「おはよう」「こんにちは」「ありがとうございます」などのあいさつが進んでできる習慣を身につけます
(2) 個に応じた教育の充実ときめ細やかな指導で、基礎基本や自ら学び考える力を身につけます。また、国語科の授業、音読指導、読書指導などの取り組みを通して、言葉に向き合い、主体的に表現する児童を育成します
(3) 学級づくりを基盤として、互いに認め合い助け合い、共に伸びようとする豊かな人間関係を育みます
(4) オープンスクールや学校行事、地域ボランティアや保護者の方々の学校教育活動への参加などを通して、家庭、地域社会との連携を強化し、地域に開かれた学校づくりを推進します
(5) 校内研修の充実に努め、教えるプロとしての専門的指導力と実践的指導力の向上を図ります

播磨西小学校が子どもたちの夢を育て、夢をかなえる力を育むことができる場となるよう全教職員で力を合わせ、日々の教育活動の充実に努めます。皆さま方のご協力、ご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます



【教育目標】

夢と希望を持ち、かかわり・つながりを大切にして学ぶ南っ子の育成

【校訓】 やりぬく心

【目指す児童像】

- 自分の思いを伝え、語れる子
自分なりの思いや願いをもち、友達や身の回りの人に、伝えたり、語ったりできる子
○自分や友達を大切にし、支え合える子



- 自分の良さに気づき、自分自身を愛するとともに、友達の良さを認め、互いに支え合える子
○笑顔あふれる子
笑顔いっぱいの学校の実現に向けて、自分、友達、クラス、学校、そして地域の人へと笑顔を広げられる子

【本校の取り組み】

- (1) 安全・安心、そして信頼される学校の創造を目指します
・教職員の危機管理の徹底を図るとともに、子どもの安全意識の向上を図ります
・保護者や地域の人から信頼され、愛される学校を目指します
・落ち着いた環境で思う存分学べるよう、学級・学年経営の充実を図ります
(2) 笑顔あふれる学校の実現を図ります
・心を結ぶ生徒指導の充実を図り、学校が大好きな子の育成を図ります
・ウキウキ・ワクワク・ドキドキの学校・学級経営を目指します
(3) 研究・研修の充実を図り、確かな学力の向上に努めます
・学校運営の柱としての研究・研修を位置づけ、授業研究を中心に引き続き国語科の研究を継続します
・南小の伝統となりつつある、「音読」「卒業表現をゴールとする語り」「図書館を使った調べる学習コンクールに向けた作品作り」の一層の充実を図ります
・読書環境を整え、国語科の授業の充実を図ること、言語能力の育成を図ります

この他にも、恒例の「南っ子ふれあい祭り」、高学年の「セミナー学習」などを通して、地域の方々との連携を一層深めていきたいと思っております。これからも温かいご支援・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



【教育目標】

知・徳・体の調和のとれた児童の育成

本校では今年度も、上記の教育目標を掲げ、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の基礎基本を培いながら、「生きる力」の基盤づくりに努めます。



【スローガン】 「はりまっ子 一人一人を大切に
～みる・する・支え合う学校生活を～」

【目指す児童像】

- 基礎基本を身につけ、自ら学ぼうとする子 <知…確かな学力>
○協働しながら、お互いの良さを認め合える子 <徳…豊かな心>
○健康の維持増進に心がけ、体を鍛えようとする子 <体…健やかな体>

【本校の取り組み】

- (1) 学力を伸ばす学習環境
ユニバーサルデザインの視点で教室環境を整備し、国語科を中心とした授業研究を推進し、共に伝え合い学び合う場を充実します
(2) 協働による温かい人間関係づくり
コミュニケーション能力の育成を図り、「特別の教科道徳」の時間を要に、道徳教育・人権教育・特別支援教育のさらなる充実を目指します
(3) 健康維持と体力向上
食育と安全教育による健康・安全意識の高揚と、縄跳び検定など、誰もが楽しめるトレーニングを取り入れた体育授業を推進します
(4) 教職員の資質向上と業務改善
校内研修を充実させ若手教員の育成を図ると共に、学校行事や会議の効率化と勤務時間の適正化を図り、子どもと向き合う時間の確保に努めます
(5) 家庭・地域から信頼される学校
家庭や地域との連携をさらに強化し、PTA行事や町行事へ積極的に参画し、地域に開かれた学校を目指します
保護者並びに地域の皆さま方におかれましては、本校教育にご理解とますますのご支援を賜りますよう、よろしくお願ひいたします。



【教育目標】

子どもたち一人ひとりの 幸せを願って

「未来を拓く子どもたちの豊かな人間力の育成」

【校訓】 豊かな心 健やかな体

この教育指針のもと、私たちが子どもたちに身につけさせたいのは、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の3つの力に支えられた「生きる力」です。また、「説明する理数教育」をテーマとして、数学的思考力とコミュニケーション力の向上を図っていきます。

【目指す児童像】

- 自ら考え、表現する子
自らのめあてをもって学習に取り組み、学習したことを自分なりの視点や方法で表現する子
○心ゆたかな子
思いやりの心、生命を尊重する心を身につけ、よりよい生き方を求める子
○たくましい子
運動することの楽しさや喜びを味わい、健康の保持増進に努める子

【本校の取り組み】

- (1) 基礎・基本の定着を図り、自ら考え表現する力の育成を推進します
(2) 言語に対する関心や理解を深め、言語能力の育成を推進します
(3) 「説明する理数教育」のさらなる推進を図り、学校力の向上に努めます
(4) 児童理解に努め、豊かな心を育む教育を充実します
(5) 自らを鍛える、健康で明るくたくましい子の育成を推進します
(6) 開かれた学校づくりを推進し、地域に信頼される学校づくりを目指します
(7) すべての教職員の資質向上を図り、全職員で特別支援教育を充実します
(8) 勤務時間の適正化による、ゆとりある教育環境整備に努めます



本年度は、本校創立45周年の節目の年です。保護者の皆さまや地域の皆さまのご支援、ご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願ひいたします。

就学援助及び奨学金制度

▶申込み・問合せ 教育総務グループ ☎079 (435) 0533
▶受付期間 6月1日(金)～15日(金) 8:30～12:00、13:00～17:15 (土・日曜日は除く)

1 小・中学校の就学援助制度

町立小・中学校の学用品費および給食費などに対して援助します。
▶対象 生活保護世帯または世帯全員の所得が基準額以下の世帯。昨年度に認定された世帯も再度申請願います
※就学援助は期間後も随時受け付けしますが、受付期間以降の申請については、4月1日にさかのぼって認定できませんのでご注意ください。

2 播磨町奨学金貸付制度

経済的理由により就学が困難な学生などに対して奨学金を貸し付けします。
▶対象 高等学校、高等専門学校、特別支援学校の高等部、専修学校、各種学校、大学および短期大学など(ただし私立学校については学校法人が設置運営する学校であること)に在学中で、所得が奨学生資格審査委員会の定める基準額以下の人に貸し付けします

区 分		奨学金の額
国公立の高等学校		月額17,000円
私立の高等学校		月額29,000円
高等専門学校	国公立	月額20,000円
	私立	月額31,000円
専修学校	国公立	月額17,000円
	私立	月額29,000円
各種学校		月額22,000円
大学・短期大学など		月額30,000円または50,000円(自由選択)

播磨町教育委員会では、教員志望の大学生、大学院生を**学生スクールサポーター**として、**幼・小・中学校に配置**しています。
無償のボランティア活動となりますが、交通費は支給し、活動中のけがなどはボランティア保険で対応します。
詳しくは、お問い合わせください。
▶問合せ 学校教育グループ ☎079 (435) 0545
Eメール gakkoukyoiku@town.harima.lg.jp

ゆとりある学校生活のためご協力をお願いします
児童・生徒のゆとりある生活の確保、心身のリフレッシュやスポーツ傷害などの防止、教職員が児童・生徒と向き合う時間の確保のため、兵庫県教育委員会では、勤務時間適正化推進プランを策定しています。
●ノーマルデー 平日週1日、休日月2回以上
●教職員定時退勤日 週1回以上
※実施日は各学校で設定します。
▶問合せ 学校教育グループ ☎079 (435) 0545

「子どもを守る110番の家」を募集しています
▶問合せ 学校教育グループ ☎079 (435) 0545
「子どもを守る110番の家」は、子どもたちが登下校時や放課後に、助けを求められることができる民間協力の緊急避難場所として始まった取り組みです。
播磨町でも現在、各校区ごとに多くの人の協力を得て取り組んでいます。
新規に「子どもを守る110番の家」にご協力いただける人を募集しています。詳しくは学校教育グループまでお問い合わせください。

子育ての未来のために
— 家庭教育推進委員会 —

家庭教育の基礎は、子どもとしっかりと向き合うことから始まります。そこで、子どもと向き合う6つのポイントを今月より連載します。

その① **家族とのふれあいが大切!**
○子どもの顔を見ながら話を聞こう!
子どもが求めているのは「家族のみんなが楽しく過ごす」こと。夫婦、親子の間での会話を増やし、家族の絆を深めることで子どもの心に安心感が生まれます。「聴き上手」になろう!
子どもが報告や相談に来た時、忙しかったり、気持ちに余裕がなかったりすると、つい、いいかげんな聞き方になりがちです。ながら返事や、空返事をしてはいけません。子どもの気持ちに共感し、目を見てしっかりと聴いてあげましょう。
○家族で過ごす時間を大切にしよう!
子どもに、家族の一員として大切なかけがえのない存在であることを知らせ、家族との精神的なつながりを高めましょう。

播磨町立播磨中学校 校長 奥野 耕太郎



【教育目標】
人間尊重の精神を基盤に、知・徳・体の調和のとれた全人教育を目指し、自ら学ぶ意欲と主体的に生きる力を育成する

【校訓】 明朗・自治・創造

【目指す生徒像】
『主体的に学ぶ姿勢を持つ生徒』
『豊かな心と強い体を持つ生徒』
『互いに認め合い、共に高まり伸びようとする生徒』



- 【本校の取り組み】**
- (1) 「あひる」を大切にした学校生活
 - ・挨拶のできる人
 - ・人の話を聞ける人
 - ・ルールを守る人
 - (2) 協同学習による主体的対話的な学び
 - ・コミュニケーショントレーニングの実施
 - ・生活の中での言語活動の見直し
 - (3) 道徳教育の充実
 - ・地域に開かれた道徳授業の実施
 - ・教室に季節の花を置く
 - ・教科化に向けた校内研修の充実
 - (4) 不登校対策
 - ・全職員での情報共有の強化
 - ・家庭、関係機関の連携強化
 - (5) 特別支援教育の充実
 - (6) キャリア教育の充実
 - (7) 生徒理解に基づく生徒指導の充実

本校では、教師は教育のプロとしての自覚を持ち「生徒のいるところに教師あり」のスローガンのもと、生徒との信頼関係を大切にしたい学校づくりに全力で取り組みます。学校と家庭は車の両輪です。連携を取って同じ方向を向いて進んでいきたいと思えます。教職員一同頑張りますのでよろしくお願いいたします。

播磨町立播磨南中学校 校長 藤原 正純



【教育目標】
社会的自立を目指し、未来に向かって主体的に生きる力の育成
～ 南中の“あ・ひ・る”を大切に～

本校で6年目を迎える『あ・ひ・る』を全校生の合い言葉に、「生徒のいるところに教師あり」を全職員の基本姿勢に、みんなが気持ちよく学校生活を送れるように全力で取り組んでいきます。



【目指す生徒像】
『主体的に学ぶ姿勢を持つ生徒』
『心豊かな生徒』
『たくましく健やかな生徒』

- 【本校の取り組み】**
- (1) 生徒一人ひとりに応じた学習指導の推進
 - (2) 豊かな心と社会性を育む教育の充実
 - (3) 生徒理解に基づいた指導体制の確立
 - (4) 個性や特性に応じた特別支援教育の充実
 - (5) 個々の状況に応じた不登校対策の推進
 - (6) 地域に信頼され、地域とともにある学校づくりの推進
 - (7) 教職員の資質向上及び業務改善の推進



「地域の中の学校」を意識し、生徒・保護者・教職員が一丸となって、南中の発展を目指してまいります。本年度も地域の皆さまのご協力・ご支援をよろしくお願いいたします。